

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393400094
事業所名	グループホームはなえくぼひくみ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	コロナの5類感染症移行後に復活した地域行事には、できるだけ参加するように努めている。子ども神輿の来訪の継続があり、利用者の楽しみになっている。地域資源を活用した外出、気候の良い時期の日課とする散歩等で、地域と交流している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年6回の会議を開催している。利用者家族、地域代表のほか、市の担当者、地域包括支援センター、地域のグループホーム等が参加し、ホームの運営報告を基に意見交換を行っている。管理者は、質疑応答を通じ、ホームの方針や、認知症・認知症介護を啓蒙している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市の担当者と地域包括支援センターの、ホーム運営推進会議参加が得られている。市の介護サービス事業所協議会参画で、3ヶ月毎の会議に出席し、横の連携を図り、協働している。包括とは、今年度、認知症サポーター養成講座のホームでの開催で協力している	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	面会時、電話連絡時等、直接話せる機会に詳細な情報提供を行い、一行日記でも、個別に毎日の様子を情報提供し、意見を出しやすい環境に配慮している。運営推進会議参加で、外部者への意見表出の機会を作っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎	○	◎	○					